

LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

南魚沼だから
できること。

There are things you can do
because it is minamiuonuma city.

vol.20

2024 / Winter

新潟県南魚沼市ブランド化促進
ライフスタイルマガジン



www.life-in.jp

vol.20
2024 / Winter



www.life-in.jp

新潟県南魚沼市ブランド化促進ライフスタイルマガジン【LIFE in ～ライフイン～】vol.20 / 発行日 2024年1月 / 発行者 新潟県南魚沼市



雪国の恵あふれる南魚沼

厳かで美しい

厳しくもあたたかく

雪の南魚沼市

LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

南魚沼だから
できること。

There are things you can do
because it is minamiuonuma City.

vol.20
2024 / Winter

新潟県南魚沼市で
地域資源や特産品など雪国の魅力を
活かし活躍する人々を紹介する
南魚沼市ブランド化促進ライフスタイルマガジン
『LIFE in ～ライフイン～』

CONTENTS

- 04 南魚沼の農産物をより魅力的なものに
南雲 優さん
- 10 南魚沼市
ふるさとワーキングホリデー
- 18 Promotion of Branding
龍寿し Ryu Sushi
- 20 読者アンケート
- 21 南魚沼市概要・歳時記
- 22 これから南魚沼市への定住を考えている方へ
南魚沼市の取組み

www.life-in.jp





南雲 優さん

Yu Nagumo / 32歳

千葉県出身。関東のデザイン学校を卒業後、東京で主にスマートフォン用ゲームデザイナーとして活躍し南魚沼市へ1ターン。2019年、株式会社アラフェルム（南魚沼鈴木農場が法人化し設立された会社）に入社。広報やデザインを担当し、鈴木農場ブランドを確立するため多岐に渡り業務に進んでいる。

野菜を育てるだけではない 様々な事業へ挑戦

鈴木農場は野菜農家であるが、農業を主軸に南魚沼産のからし菜を使った「和からしマスタード」、自家栽培の鷹の爪で作った「ノウカラ油」や魚沼野菜神楽南蛮入りの「南蛮じょっから」等の調味料を始め、地元の素材を使用したクラフトコーラ「ノウカコーラ」など鈴木農場オリジナル商品の加工、販売を行っている。

2022年には、南魚沼の山々を見渡せる展望の良い立地に農業複合施設として「鈴木農場」をオープンした。店舗の扉を開けると笑顔で迎えてくれた広報の南雲優さん。建物内を見渡すと3つのエリアに分かれており、飲食可能なカフェエリアの他、商品の販売エリア、そしてひとときわ明るい水耕栽培エリアにはレタスやバジルが育っている。

南雲さんが農業複合施設鈴木農場について教えてくれた。

「水耕栽培エリアは農業と福祉の連携し農福連携の就労支援施設、※就

労継続支援B型施設』SUZUKI Nojio Village として運営しています。障がいをもった方が農業を通じて、自信や生きがいを持って社会に参画する機会をつくり、農業を学ぶことで将来的には農家での就職まで斡旋し、就労者が自立できることを目的としています。」

南魚沼は全国有数の豪雪地帯であり、天候に左右される外の作業については冬場の就労場所が限られてしまうため、SUZUKI Nojio Village では屋内に水耕栽培を設けることで天候に左右されず通年で働ける環境を整えた。

「私たちは高齢化が進む農業分野において新たな担い手の確保として、障がいのある方の雇用場の確保し農業の楽しさを通じて就労支援をしていきたいと考えています。現在は20代〜60代の方まで7名の方が働いています。障がいを持つ方にとって南魚沼市で就労先の選択肢がまだ少ない現状ですが、鈴木農場では天候に左右されない水耕栽培の他、外での苗の植え付け、収穫作業や販売等、就労者の皆さんが飽きずに楽しんで働けるよう仕組みを作っています。昼食は自分たちで育てた野菜も食べられるので、働くだけで

関わる人すべての幸せを目指して

なく食べる楽しさも味わえる就労施設となっています。」

南魚沼では珍しい農福連携の施設ということでまだ認知度が低く、このような就労支援があることを多くの人に知ってもらいたいと南雲さん。取材当日も青空の下、畑で生き生きと作業する就労者の姿が印象的であった。

続けて「水耕栽培に加えて私たちの商品を直接お客様に体験していただけるカフェエリアを併設し、南魚沼を体感できる収穫体験等アクティビティも可能な農業複合施設として運営しています。」と語る。



Introduction
of the life style
2024
Winter

南魚沼の農産物を より魅力的なものに。



「鈴木農場」のブランドを確立したいと、「和からしマスタード」を始めとしたオリジナル商品のデザイン等幅広く携わっている南雲さんに、ブランド化に対する想いについてお話を伺った。



私のお昼ご飯

My Lunch

鈴木農場の
「チーズミートドッグプレート」

この日のランチは秋からの新作メニュー、「チーズミートドッグプレート」。併設された水耕栽培施設で育ったレタスを添え、ドレッシングは鈴木農場商品「和からしマスタード」入り。「チーズはかけ放題で、お客様がストップというまで目の前で提供します。チーズ好きな方はたっぷり楽しんでほしいです。すべてのカフェメニューのサイドには和からしマスタード各種をお付けするので、食事と一緒にお好みで試していただきたいですね。」



鈴木農場

アスパラやスイカを始めとした農作物の生産の他、自家栽培で育てたからし菜の種から作る「和からしマスタード」など、加工品の製造・販売を行う。2022年には農業複合施設をオープンし、カフェ営業のスペースは貸し切りパーティーも対応可能。その他マスタード作り体験や野菜の収穫体験(要予約)、クロスバイク等様々なアクティビティを体験することができる。また、就労継続支援B型施設を併設し農福連携施設としても役割を担っている。

※就労継続支援B型…障がいや年齢、体力などの理由で雇用契約を結んで働くことが困難な人が、就労の機会を得たり、就労に必要な知識や能力の向上のために就労訓練を受けたりすることが可能な障がい福祉サービスの一つ。

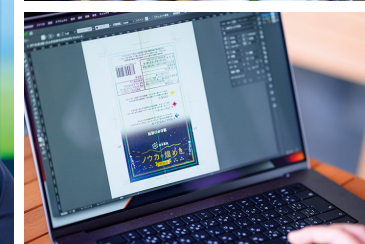
- 〒949-6682 南魚沼市大月1200
- TEL / 025-788-0908
- 営業時間 / 10:00 ~ 17:00
- 定休日 / 火曜



Web Site



Instagram



カフェエリアでは鈴木農場産の野菜がメニュー内で使用されており、ハンバーガーやホットドックなど、鈴木農場の主力商品である「和からしマスタード」に相性の良い食事も提供されている。地元の「クロモジ」と呼ばれる香りが特徴的な素材を使ったスパイス等を使った自家製クラフトコーラ等の飲み物も味わうこともできる。店舗内ではマスタードサーバーから量り売りを行う生マスタード販売を始め、事前予約をすればマスタード作りの体験もでき、食事だけでなく様々な形で鈴木農場の魅力を体験できる仕組みだ。

「鈴木農場のメーカーとしての信用度を高めたいという想いから始まり、お客様が体感できる場としてこのようなエリアを設けました。私たちの商品や取り組みで多くの方に鈴木農場というブランドを知ってもらい、小さな農家でもちゃんと取り組みがブランド化ができ、お客様へ良い商品が提供できることを伝えたいです。」と南雲さんは語る。

農家がブランド化を目指す理由

なぜ鈴木農場はブランド化を目指すのか、南雲さんに伺った。

「南魚沼と言えば『米』のイメージですが、鈴木農場はアスパラやカリフラワーを始め、小玉スイカや野沢菜などを生産している野菜農家です。小規模の農家は苦勞も多く、ちょっとしたことで廃業に追い込まれてしまうこともあります。現在の社長就任後、生鮮野菜を生産するだけでなく鈴木農場をブランド化し、価値を上げたいという理由から加工品の製造を始めました。良い商品を作り価値を上げ、お客様に満足していただければ利益も生まれ、関わる全ての人が幸せになれると考えています。」

南雲さんは東京でデザイナー学校を卒業後、スマートフォン向けのゲーム等のデザイナーとして活躍し、生活環境が変わるタイミングで南魚沼に縁があり、最初の数年は地元の酒造会社に通っていたが、地元の猟友会の中で鈴木農場社長と出会い現在のキャリアが始まった。

「当時鈴木農場がマスタードを始め、たばかりの時期で商品デザインの相談から始まったことがきっかけです。元デザイナーである私が受託してしばらくは作成していましたが、更に会社を大きくしたいという話の流れで社長より誘いがあり入社することになりました。私たちの商品はおいしいということとは当たり前で、加えて見た目の良さやカッコよさで手に取ってもらえる機会を増やし、商品の開発ストーリーで納得して頂けるよう製品開発を心がけています。」



南魚沼生まれのマスタード

鈴木農場の主力商品である、和からしマスタードは現在3種類を展開。そのうちの1つ「SMOKE和からしマスタード」が新潟ガストロノミアワードで特産品部門を受賞した。和からしマスタードは自家栽培した南魚沼産からし菜から製造されている国産のマスタードである。日本で流通している一般的なマスタードは海外産が多く原料から国内で製造しているマスタードは全国的に見てもほとんどないと南雲さん。

「知人の『辛いマスタードが食べた』という一言からマスタード作りが始まりました。農家である強みを活かし、自分たちでマスタードの原料となるからし菜を南魚沼で栽培し、辛さの中にも旨みと爽やかさを感じる商品を作ることができました。実は南魚沼周辺のエリアではわさびの代わりにからしを食べる習慣があったそうで、現在もお蕎麦の薬味としてからしを添えて提供しているお店もあります。この地域とつながりが深いからし菜を使っ

挑戦を始めました。一般的なマスタードに広く使われている種子は辛さが控えめの黄色のイエローシードですが「和からしマスタード」は種子が茶色でより辛みを感じるブラウンシードを栽培して使っています。種子が小さめなので6段階もの工程を経て丁寧に選別を行ってかなりの手間暇がかかりますが、爽やかな辛みを楽しめる商品に仕上がっています。」

受賞した「SMOKE和からしマスタード」は燻製が香るマスタード。南魚沼で繊維業が盛んに行われていた時代に原料となる蚕が好む桑の木を植えており、現在使われなくなった桑の木を燻材に使用することで地域資源の有効利用にも一役買っている。

原料のからし菜は9月に種をまき、葉が出てきた頃に雪が降り始める。そのまま冬を超え翌年の6月に収穫を行うそう。通常はからし菜のえぐみが出てしまうそうだが、鈴木農場のからし菜はこのえぐみが少ないようだ。「県外の農家の方に問い合わせをい

ただいて初めてからし菜にえぐみがあることを知ったんです。科学的な根拠はわかりませんが、一度雪に覆われることで野菜の糖度が上がるように私たちがのからし菜もえぐみが少ないものに育っているのかもしれない。」と和からしマスタードの特徴も教えてくれた。

小粒ながらもマスタードシードの一粒一粒の食感を楽しめ、ピリツとした辛さが料理全体の味を引き締める。定番のソーセージからドレッシングやカルパッチョ、お寿司やポテトサラダにも相性が良いのでぜひ試していただきたいと南雲さんは語る。

ブランド化へ向けて更に発展したい

これからの鈴木農場の展望について伺った。

「農家である私たちらしい商品やサービスを提供し、苦勞して作り上げ

たものでお客様が喜んで頂けることにとてもやりがいを感じています。鈴木農場を発展させ、私たちの商品をさらに広めたいと思っています。加工品では多くのお客様に満足していただき、就労支援では野菜を育てる楽しさを就労者の方に知っていただく。地域へ貢献ができればと思います。現在はマスタードが主軸ですが、他の商品の開発や農業以外にも展開したいと考えています。社長からは『せっかくやるなら楽しくやるう。』と言われるのですが、本当に楽しく仕事をさせていたたいです。もちろん責任も伴いますが、失敗を恐れず様々なことに挑戦していきたいと思います。」

商品開発も留まることのないよう、取材当日も新作の商品を紹介していただいた。また、近隣の農家や販売者と協力してイベント開催も積極的に行い、様々な形でブランド認知に向けて取り組んでいる。鈴木農場のブランド化へ向けた様々な取り組みは着実に実を結び始めている。



ほんの少しの勇気から始まる2週間。
リアルな暮らしで得られるモノがきつとある。



GO TO
THE COUNTRYSIDE

南魚沼市 ふるさと ワーキングホリデー

目指すのは若者と南魚沼市との継続した関係を生むきっかけになること

企業インターンやリゾートバイト、観光旅行とは何が違うのか

実際に参加した若者たちにインタビューしてその実態をのぞいてみた



「第2のふるさと」
づくりで人も地域も
共にプラスに
なることを目指す

ふるさとワーキングホリデーは2017年から総務省が主体となって始めた取り組みで、主に都市部で暮らす若者が地方地域で働いて収入を得ながら、就労や休日の中で地域住民や企業との交流を通して「リアル」な暮らしが体験できるプログラムです。

「地域との交流を深めたい。」「都会では体験できない経験をしたい。」など、地方との関わりや地域貢献への関心があっても機会がないと諦めていた若者に地域との新しい関係を生むきっかけを提供しています。また、地域のファンづくりに加え地域の活性化や、将来の定住につながることを目標とした取り組みとなっています。南魚沼市では、2022年から事業を開始し、既に全国から約90名が参加しました。

滞在期間中は参加者同士の交流はもちろん、地元で活躍する地域の方々との交流もあり南魚沼のリアルが体験できるプログラムとなっています。

プログラム終了後も相互の関係を終わらせることなくつながり続けることで参加者の「第2のふるさと」となっていく

ことを目的として取り組んでいます。

また、就労先として取り組みに協力いただいた事業者は10社を超え、農場やスキーリゾート、宿泊施設や製造業など幅広い業種で参加者を受け入れています。

受け入れ先事業者を始め、参加者と交流を持った地域の方々も回を重ねることに増え、都市部に住む若者たちに南魚沼の魅力が伝わり、新しいつながりを生む最初の第一歩となっています。地域の活性化やこれからの未来につながる可能性を含めた、人も地域も共にプラスになることを目指した取り組みです。



お問い合わせ

一般社団法人 愛・南魚沼みらい塾

yukiguni.holiday@gmail.com

TEL.025-788-1828

(月～金 10時～16時 ※祝祭日は除く)

活動の様子はSNSでも
ご覧いただけます。
[Instagram]





『将来の夢に近づくための一步』

Working holiday × LIFEin Minamiuonuma city life style Magazine.

CASE

01

人見 璃音 さん／Rion Hitomi

武蔵野大学 グローバル学部グローバルコミュニケーション学科3年
東京都出身

就労先 ryugon

将来は旅館で働くことを希望し、就労場所から南魚沼市を選んだという人見さん。「他の自治体も検討しましたが、この3人の雰囲気は惹かれ南魚沼市でふるさとワーキングホリデーに参加することを決めました。」

就労先ではお客様の迎えやお見送り、朝食の配膳やご案内、ラウンジ内のカウンターでの接客等を行った。「今回の就労では『周りを見る力』を養えたと思います。お客様の状況を見てかける言葉を変えたり、状況を判断して対応が変わるので大変な部分もありましたが貴重な体験ができました。地元でも有名な歴史ある旅館ということで緊張感を持って働き、自分なりにお客様と向き合うことで『ありがと』と声をかけていただいた時はやりがいを感じました。お客様をお見送りした際に笑顔で手を振って帰られた時は本当に嬉しかったです。」

今回の就労で将来の自分を具体的にイメージできたという人見さん。「実際に働いたことで、旅館業に対する想いが更に強くなりました。貴重な体験ができたと思います。」

滞在中は携帯電話をほとんど使わなかったという人見さん。共同生活での過ごし方を伺った。

「共同生活することに緊張していた部分もありましたが、2週間楽しく過ごすことができました。一日一日がとても濃く、滞在中ほとんど携帯電話に触れていないことに驚きました。SNSや動画投稿サイトを見たいという気持ちよりも、日に日に参加者とのコミュニケーションの時間を大切にしたいと思うようになりました。滞在先のリビングでの団らんが一番の思い出ですね。色々な話を参加者としたのですが、この何気ない時間がとても



良い思い出になりました。たった2週間での良い友達にしか話せないようなことも腹を割って話せる関係を築くことができました。また、参加者全員分の夕食を作ったことや同じ屋根の下で生活をする中でお互いを助け合い、周囲を気遣う気持ちが磨かれ、参加者全員の団結力が上がったと感じました。参加者と滞在中に満天の星空を眺めたことや、足湯でのひと時も思い出です。就労だけでなく参加者や地元の方との交流もあり、観光旅行とは違った楽しさのある充実した2週間でした。」

滞在を通して人見さんは『人との出会い』が南魚沼市ふるさとワーキングホリデーの魅力だと語る。

「参加者や就労先、滞在先の関係者や地元の方など東京では味わえない関わり方を体験することができました。滞在先を二歩出ると地域の方が『こんにちは』と挨拶してくださり、地元の方の温かさを感じました。また、就労や共同生活を通して他人同士が切磋琢磨して成長できる機会が得られるのはふるさとワーキングホリデーならではの魅力だと思います。知らない土地に飛び込むことは勇気がいると思いますが人生は一度きり。絶対に後悔しない体験ができると思えます。」



『すべての業界に通じるスキルが得られる体験』

Working holiday × LIFEin Minamiuonuma city life style Magazine.

CASE

02

佐藤 悠太 さん／Yuta Sato

明治大学 情報コミュニケーション学部1年
千葉県出身

就労先 舞子スノーリゾート

佐藤さんは今年から都内の大学に入学、今回のふるさとワーキングホリデー唯一の1年生参加者だ。

「基礎ゼミナールという1年生向けのゼミ活動の担当教授が南魚沼のふるさとワーキングホリデーを紹介していて、このプログラムを知りました。」

既に卒業後の進路を意識し、企業インターンにも参加したという佐藤さん。企業インターンとは異なり就労をしながら地元の魅力も体験でき、地方創生に関わりながら参加者と集団生活を体験できるこのプログラムに惹かれ参加を決めたそう。

「14日間親元を離れて就労する経験は初めてで不安もありました。滞在中盤は実際乗り越えられるか心配でしたが、振り返ってみるとあつという間でもう終わってしまっのかと感じています。」

就労先は舞子スノーリゾート内で夏場に行っているグランピングエリアに配属。慣れないながらも一生懸命に取り組む姿勢に受入企業からも感心の声が上がっていた。

「就労先では宿泊テント内の片づけやデッキの掃除、お客様のお出迎えや設備紹介、部屋への夕食出しや食事内容の紹介を行っていました。仕事は忙しく厳しい面もありましたが、得るものも多く企業インターンとは違った学びが多くありました。接客業が初めてだったこともあり、言葉遣いや所作、順序立てて仕事を行うことや、お客様の状況を判断して行動するなど接客の基礎を学べました。まだまだ学ぶことは多いですが、企業インターンとは違い、社会に出ていく上で必要なスキルを学べたと思います。」

また、南魚沼は滞在先で共同生活を行うことが特色の一つでもある（希望があればホテル滞在も可能）が、年齢や学年を超えた

交流があったそうだ。

「ワーキングホリデー参加前は他人との関わりがここまで深いとは思っていませんでした。共同生活では上級生の参加者が積極的に声をかけてくれたことで緊張がほぐれ笑顔にさせてくれました。普段の大学生活で他学年の方と話す機会は全くないのですが、滞在を通して先輩方が率先して家事をしてくれたり、思いやりのある言葉を掛け合ったりと他の参加者の行動から学ぶことも多かったです。参加者はもちろんスタッフの方々とも交流が多くあり、最初の印象とは違ったものになりました。」

「休日には就労が休みの人と一緒に市内観光へ行きました。訪れた場所の一つに雪を使った貯蔵施設「雪室」があったのですが、人間と自然の共存を体感できとても印象に残っています。また、南魚沼には温泉も多くあり就労後、温泉で身体を休めるといった贅沢な環境も気に入りました。まだ行けない温泉が多いので、近いうちに南魚沼に戻ってきたいと計画しています。就労だけでなく地域の良さを体験しながら滞在できることがふるさとワーホリの他にはない魅力ではないかと思っています。」





『知らない土地が”また戻りたい場所”に』

Working holiday × LIFEin Minamiuonuma city life style Magazine.

CASE

03

望野 華さん／Hana Mochino

玉川大学 リベラルアーツ学部2年
神奈川県出身

就労先 ザ・ヴェランダ石打丸山

この夏は「挑戦」という目標を掲げ、新しいことや自分がやりたいことに積極的にチャレンジしようと決めていたという望野さん。ふるさとワーキングホリデーの存在は他自治体でふるさとワーキングホリデーに携わっている大学の先輩から紹介されて知った。「南魚沼市は過去のふるさとワーキングホリデーに参加した学生がスタッフとして、主体となって活動していることを知り興味を持ちました。新しい場所ですごく新しい人と出会うことで日常を抜け出し自分自身を見つめる時間が作れることや、人や地域との繋がりを作りたいと思い参加を決意しました。また、自然豊かな環境と「雪」の恵みで育まれたお米や野菜にも惹かれました。」

就労先は石打丸山スキー場内にあるカフェ「ザ・ヴェランダ石打丸山」。主にドリンクの作成や食事の仕込みの補助、ホールやテラスの清掃などを行った。

「お客様や地元の従業員の方とのコミュニケーションが多く楽しく働くことができました。お店の顔として緊張感もありましたが、お客様に素敵な思い出を持って帰ってもらいたい気持ち忘れずに、海外の観光客の方に英語で接客してみたりと慣れないことにも積極的に挑戦しました。休憩中に南魚沼の景色を眺めながら過ごした時間は都会では感じられない贅沢なひと時でした。」

滞在先の施設での共同生活も彼女にとっては大きな挑戦だった。

「私は人と話すことに苦手意識を感じていて、初対面の相手と共同生活することに緊張や不安もありました。苦手意識を克服しようとして参加者や関わる人たちに自分から話しかけること、参加者全員と一対一で話すことを滞在中の目標にしていました。目標は達成でき、振り返ってみると『新しい出会い



を楽しむ自分、人に興味がある自分」を見出し、自分自身の成長を感じています。また就労がない日に参加者全員の夕食を担当した時は量の多さに苦労しましたが、参加者と相談して献立を決めたり、その日の出来事を話しながら「おいしいね」と食べる時間が大好きでした。参加するまでは就労して日々を過ごすイメージでしたが、共同生活を通して毎日の何気ない出来事がとても楽しく充実し、参加者同士がお互いに支えあう関係性を築けた2週間だったと思います。」

また、滞在先の運営スタッフや地元の中高校生など地域のひととの交流も行い、濃い2週間だったと振り返る望野さん。

「滞在中、南魚沼市で行われている中高生の地域探求促進プログラム『Yokkey プロジェクト』に参加したのですが地域の中高生と話すことで自分を客観的に見ることできたり、自分の考え方が広がりました。プロジェクトに関わる地域の方や運営スタッフの方も温かく対応してくださり、2週間の交流で南魚沼に『おかえり』と迎えてくれる人たちがたくさんできました。正直知らない土地でしたが、この経験で南魚沼市が必ずまた戻ってきたい場所となりました。今では自然豊かであたたかい街の南魚沼が大好きです。これから参加したいと思っている人は少しの勇気でもいいので飛び込んでみてください。南魚沼で大切な仲間と出会い、素敵な経験を得ることができると思います。」



『満足度は自分次第で無限に広がる』

Working holiday × LIFEin Minamiuonuma city life style Magazine.

CASE

04

浦部 建斗さん／Kento Urabe

早稲田大学 国際教養学部4年
東京都出身

就労先 hakkai 株式会社

浦部さんは間もなく卒業を控える4年生。友人が他自治体でのふるさとワーキングホリデーに参加した話を聞き、知らない土地で「働く」という形で地域と関わることに興味があり参加を決めた。

「南魚沼市の運営方法や純粋にものづくりに興味があること、就職先に強い関連があるものづくりの会社に魅力を感じ決めました。調べている中で「hakkai」さんは日本を代表する精密部品やプラスチック製品等を製造するものづくりのトップ企業であることがわかり、このような企業で就労できることは貴重だと考えたのが大きな理由です。実際に就労してみると、社員の方が自分の意見を素直に聞き入れてくれ、チームの一人として迎え入れてくださる雰囲気は社内全体にありました。細かい工程も一つ一つ丁寧に説明していただき、どんな小さなことにも妥協せず更に良い製品をつくることに努力を惜しまない姿勢が社員の皆さんがプライドを持って働いていることがとても印象的でした。」

また、滞在中は共同生活を通し自分の役割の変化を感じたそう。

「今までは最年少としての参加が多かったのですが、今回は最年長参加者として集団生活で『残る人』を作らないことや会話の『ボール』を作る、投げる、持っていない人を作らない」という意識を持って生活しました。滞在中は参加者一人一人にだんだんと仲間意識が芽生えましたが、最初から最後までお互いにリスペクトがあったのがよかったです。地元が同じで学校が違う友人を誘って参加したのですが、彼の協力もありそのような雰囲気を作れたと思います。」

初対面の参加者が多く、共同生活するにはハードルが高いと感じる人も多いかもしれませんが、

浦部さんは間もなく卒業を控える4年生。友人が他自治体でのふるさとワーキングホリデーに参加した話を聞き、知らない土地で「働く」という形で地域と関わることに興味があり参加を決めた。

「南魚沼市の運営方法や純粋にものづくりに興味があること、就職先に強い関連があるものづくりの会社に魅力を感じ決めました。調べている中で「hakkai」さんは日本を代表する精密部品やプラスチック製品等を製造するものづくりのトップ企業であることがわかり、このような企業で就労できることは貴重だと考えたのが大きな理由です。実際に就労してみると、社員の方が自分の意見を素直に聞き入れてくれ、チームの一人として迎え入れてくださる雰囲気は社内全体にありました。細かい工程も一つ一つ丁寧に説明していただき、どんな小さなことにも妥協せず更に良い製品をつくることに努力を惜しまない姿勢が社員の皆さんがプライドを持って働いていることがとても印象的でした。」

また、滞在中は共同生活を通し自分の役割の変化を感じたそう。

「今までは最年少としての参加が多かったのですが、今回は最年長参加者として集団生活で『残る人』を作らないことや会話の『ボール』を作る、投げる、持っていない人を作らない」という意識を持って生活しました。滞在中は参加者一人一人にだんだんと仲間意識が芽生えましたが、最初から最後までお互いにリスペクトがあったのがよかったです。地元が同じで学校が違う友人を誘って参加したのですが、彼の協力もありそのような雰囲気を作れたと思います。」

初対面の参加者が多く、共同生活するにはハードルが高いと感じる人も多いかもしれませんが、



滞在場所での夕食作りは参加者と協力して行いました。



就労中の交流も貴重な時間。



中高生地域探究プログラム「youkeyプロジェクト」に参加し、地元の中高生と交流しました。



滞在初日には南魚沼市役所で市長と面会しました。

ふるさと ワーキングホリデーへの想い

ふるさとワーキングホリデー南魚沼市運営事務局

一般社団法人 愛・南魚沼みらい塾 倉田智浩

「大学のないこの街に大学生との縁をつなげ、新たな時代を南魚沼で共に創りたい」という思いのもと、2022年度から南魚沼市と協力して事業をスタート。これまで全国40大学から86名の大学生が参加をしてくれました。

参加者は滞在中に就労や共同生活を通して将来への価値観を共有し、まるでコロナ禍で失ったつながりを取り戻すかのよう

に、それぞれが2週間の滞在を楽しんでくれているようです。また滞在終了後約4割の参加者が再訪し、「第2のふるさと」として南魚沼に強い想いを残してくれました。

今後も予測困難な時代でも新たな時代を創る人に欠かせない「自分なりの答えを導き出す力」や「多様な他者と協働する力」を、将来の生き方を探し求め参加してくれる大学生と共に育み、南魚沼から新たな時代を創っていきたいと思います。



Working holiday — Sarasa Sato

『人生を見つめなおす体験を求めて』

Working holiday × LIFEin Minamiuonuma city life style Magazine.

CASE

05

佐藤 更紗さん / Sarasa Sato

東京大学 薬学部2年
東京都出身

就労先 小澤農場

「大学2年生の今、このタイミングで人生を見つめなおしたいと思って来ました。」
佐藤さんは東京都出身の大学2年生。幼少期には山梨県や長野県にも居住経験があり、将来は山の見える場所で暮らしたいという想いもある。
「都会から離れた場所で異なるバックグラウンドを持つ人たちと1つ屋根の下で生活を共にする、南魚沼でのふるさとワーキングホリデーは自分の凝り固まった頭を柔らかくする素晴らしい機会だと考えました。この2週間で将来の選択肢を含め、自分の視野を広げるきっかけになると思い参加しました。」
参加場所に南魚沼市を選んだ理由を伺うと、「新潟県内に親戚がおり、冬は毎年南魚沼にスキーに訪れていること、県内で農村体験に参加したこともあって新潟に縁を感じ関心を持ちました。また、ふるさとワーキングホリデーのポータルサイトで『ひとと話し、考えることで、今までになかった自分について考える機会。』という南魚沼市のプログラムの趣旨にも惹かれました。」
就労先は小澤農場を希望し、しいたけの収穫や稲刈り、畑の草取り等を行った。
「東京ではキー販売のアルバイトをしているのですが、ある時商品が出来上がるまでのプロセスをほとんど知らないことに気づきました。プロセスの2つ『作物を育てる』現場に興味があり、農業という自分の専門外の分野を体験することで1つの問題に対しても多角的な視点を持って判断できると考え希望しました。」
実際に就労を体験し、自分の中で大きな気づきがあったと佐藤さんが教えてくれた。
「普段口になっている食べ物には多くの方々の苦勞があつて出来上がっていることを体感できました。自分の身をもって理解できたので

私にとって非常に有意義な時間でした。農業は大変という方も多いですが就労の8日間は本当に楽しく、特に青空の下で働くことがこんなに気持ちのいいものだとは思っていませんでした。大きな空の下で稲を刈り、コンバインに乗せてもらった日は最高の思い出になりました。今回は体験できなかったスイカの収穫に来年は挑戦したいと思っています。既に来年の参加も計画しています。」
「就労前は『農家の方は30/30/30を入れる』というイメージがありました。社長さんを始め従業員の皆さんが本当に温かく迎え入れてくれました。世間一般という「やるべきこと、やらなければならないこと」ではなく、「自分の本当にやりたいこと」をやっている皆さんの姿勢から農業に対する愛や情熱を感じました。私はこれまで勉強が全てだったのですが、小澤農場の方々のように情熱をもってできることをまだ見つけられていません。本当に自分がやりたいことは何かと考えさせられました。」
最後に南魚沼でのふるさとワーキングホリデーの魅力について伺った。
「南魚沼の魅力はきれいでおいしい水やお米などの食べ物やスキー場の近さや山の迫力もありますが、やはり『人』が一番の魅力だと思います。都会に住んでいる私にとって、ここでの密な人間関係が新鮮で魅力的でした。今回の滞在を通して南魚沼での出会いや繋がりを強く感じることできたので、魅力的な『人』との関わりが南魚沼ふるさとワーキングホリデーの一番の魅力だと思っています。パソコンでワンクリックするだけで非常に貴重な体験ができるはず。一歩踏み出すことを強くお勧めします。」

2023夏 ふるさとワーキングホリデー受け入れ事業者

小澤農場

〒949-7236 新潟県南魚沼市茗荷沢新田28番地1
TEL.025-779-3621

南魚沼の特産品である八色しいたけや八色スイカを始めとし八色カリフラワーや南魚沼産コシヒカリを生産。八色しいたけは市内No.1の生産量を誇る。若手人材の育成にも力を入れ、積極的な受入れを行ってる。

ryugon

〒949-6611 新潟県南魚沼市坂戸1-6
TEL.025-772-3470

登録文化財に指定されている本館をはじめ、幕末時代に建てられた大小16の建物からなる古民家ホテル。里山トレッキングやスノーアクティビティ、土間クッキングを始めとした南魚沼を体感できる体験イベントも数多く用意されている。

ザ・ヴェランダ石打丸山

〒949-6372 新潟県南魚沼市石打1699
TEL.025-788-0707

2022年に南魚沼市街が一望できるテラス付きのビュースポットとしてオープン。塩沢産コシヒカリを始めとした地元の食材を中心にここでしか味わえないメニューを堪能することが可能。

hakkai株式会社

〒949-7312 新潟県南魚沼市九日町2845
TEL.025-777-2410

『超』精密プラスチック製品を生み出す「ものづくり」の会社。タイ、中国、メキシコにも進出し、グローバルに事業を展開。スマートフォンや時計、洗濯機など身近な製品の部品にも多く使われている。

舞子スノーリゾート

〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108
TEL.025-783-4100

夏はグランピング施設、キャンプサイト、BBQ 設備があり冬季のみならず夏場の滞在先としても人気のエリア。舞子高原ホテル内にある天然温泉も利用可能なリゾート施設。



龍寿し Ryu Sushi

佐藤 正幸さん Masayuki sato / 54歳

市内の高校を卒業後、東京や県内での修行を経て父が創業した龍寿しへ。現在創業 56 年の 2 代目店主として、「ここでしか食べられない」味覚体験を提供し、県内外のファンを始め、海外からのファンも魅了し続けている。

“ 遠く離れたお客様に届けたい 自宅で食べられる本格バラちらし ”

—— 龍寿しについて教えてください。

佐藤 正幸さん（以下敬称略）「龍寿し」は昭和42年に父が創業しました。私が2代目店主になってからは南魚沼の山間地域でしか食べられない味覚体験を提供したいと、地元野菜や山菜を使用し、新しい組み合わせに挑戦しています。地元の方を始め、県外の方にも楽しんでいただけるメニューを考えています。

—— 「お家でまるで出来立てバラちらし」について教えてください。

佐藤 新型コロナウイルス感染症で初めての緊急事態宣言時に、関東に住むお客様から「自宅から出られず、佐藤さんのお寿司が頭から離れません。宅急便で送ってもらえませんか。」という一言がきっかけで遠く離れたお客様にも出来立ての味を損なわず、おいしく召し上がっていただける商品の開発に取り組み始めました。

「お家でまるで出来立てバラちらし」は南魚沼産コシヒカリをベースとして厳選したネタを使い、いくらでも食べ続けられる『最後まで食べ飽きしない冷凍ちらし』です。新潟県産のイクラやイカを始め、全国から仕入れたマグロや鯛、真タコ、天使のエビ、ホタテなどが入っています。シャリには甘えびのおぼろ、かんぴょう、卵焼きを併せています。わざわざ地元でも珍しい「魚沼わさび」を使用しています。

—— につぼんの宝物 JAPAN グランプリ出品の経緯を教えてください。

佐藤 新聞で偶然「につぼんの宝物グランプリ」を知り、認知拡大のため出品を決意しました。「冷凍バラちらし」というアイデアや出来立てのような味でクオリティの高さを評価され肉・海産物調理／加工部門グランプリを受賞することができました。外出が難しい方やご自宅で本格的なバラちらしを味わいたい方に召し上がっていただきたいですね。

—— 今後の目標を教えてください。

佐藤 南魚沼ならではの雪国の食文化を表現することで龍寿しでしかできない唯一無二の味や体験を提供し続けたいと考えています。南魚沼には世間はまだ知られていない素材で、全国でブランド化されている素材よりもおいしいものがたくさんあります。そういった地元の素材を使うことで地域の発信に繋げ、最終的には地域経済も潤っていかばと考えています。

最近では地元の小学校で講師依頼や職場体験の受け入れなど、地域の子どもたちと交流があるのですが、自分の働き方を伝えていくことで、「地元で働くのも悪くないな」と感想を書いた児童もいました。若い方が市外に出て行く傾向がありますが、地元の若い世代に背中を見せたい、地域に貢献できればと思います。

Promotion of Branding in Minamiuonuma

「につぼんの宝物 JAPAN 大会 2022-2023」
肉・海産物調理／加工部門グランプリ受賞

お家でまるで出来立てバラちらし

～ 龍寿し Ryu Sushi ～



ブランド化促進を目指して

南魚沼市では市内産品のブランド化促進を目指し、令和3年度より「につぼんの宝物プロジェクト」に参加しています。「につぼんの宝物プロジェクト」は、各地域の生産物、商品、技術を国内外へ紹介・販売支援を行うもので、「地方の原石」を全国・世界レベルのヒット商品に育てるプロジェクトです。今回は「につぼんの宝物 JAPAN グランプリ 2022 - 2023」で肉・海産物調理 / 加工部門グランプリを受賞した、「龍寿し」店主の佐藤正幸さんをご紹介します。

龍寿し Ryu Sushi

- 新潟県南魚沼市大崎 1838-1
- TEL : 025-779-2169
- 定休日：水曜日他不定休





The geography
of minamiyūzumi city

南魚沼市について

【特徴】

南魚沼市は新潟県南部の魚沼盆地に位置し、太平洋と日本海を結ぶ交通の要衝となっています。関越自動車道や上越新幹線などの交通アクセスは大変便利で、交通および物流の中継地としての役割を果たしています。グリーン・シーズンには日本百名山「巻機山」や霊峰「八海山」などの登山客、冬季には、スキー場が集積する一大スノー・リゾート地として多くの観光客が訪れています。教育機関としては国際大学、北里大学保健衛生専門学院が立地されています。平成27年6月に開院した「魚沼基幹病院」を中心に、地域医療の高度化が進んでいるほか、保健・医療・福祉・子育て支援も充実しています。

【面積】584.55km²

東京23区(621km²)の約94%にあたる広さです。

【人口】53,324人

※令和5年12月末現在(住民基本台帳人口)

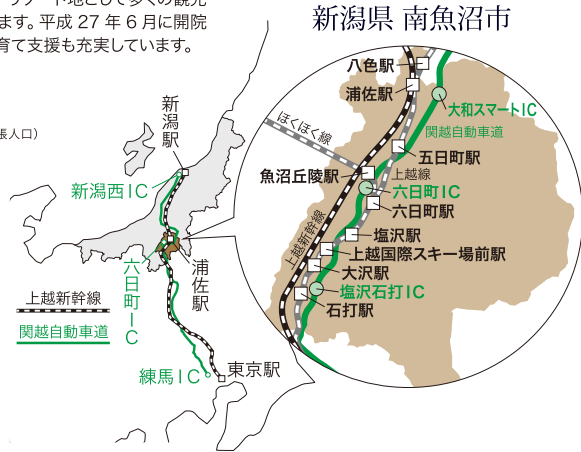
【年間平均気温】南魚沼市 11.9℃ (8月 25.5℃ / 2月 -0.9℃)

東京 16.3℃ (8月 26.4℃ / 2月 5.7℃)

大阪 16.9℃ (8月 28.8℃ / 2月 6.3℃)

【位置】北緯 36度53分 - 37度12分
東経 138度45分 - 139度05分

【保育・教育機関】保育園・認定こども園:26 / 小学校:16
中学校:4 / 総合支援学校:1 / 高等学校:4
専門学校:1 / 大学院大学:1



歳時記

Compendium of seasonal words

春

浦佐毘沙門堂裸押合大祭 (3月第1土曜日)
※2020年から日程変更となりました。
日本三大奇祭の一つ。約1200年の歴史があり、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

夏

南魚沼市兼続公祭り (7月17日～19日)

大前神社 翁式三番 (8月14日)

平安時代の三番猿楽の古い形を残す民俗芸能として全国的にも珍しく、県の文化財に指定されています。

秋

若宮八幡宮太々神楽 (9月14日・15日)

32の神楽面を使って総数26座の神楽を奉納する市の指定文化財です。

冬

八海山大火渡祭 (10月20日)

南魚沼市雪まつり (2月第2土曜日・日曜日)

しおざわ雪譜まつり (2月第3土曜日)

and more...

主要交通アクセス

関越自動車道
大和スマートIC ※ETC車専用
・東京練馬IC間 198.3km(約2時間20分)
・新潟西IC間 99km(約1時間5分)
・車長12m(大型車)まで

上越線
六日町IC
・東京練馬IC間 187km(約2時間10分)
・新潟西IC間 111km(約1時間15分)
＜高速バス停留所:東京池袋間 約3時間17分＞

上越新幹線
塩沢石打IC
・東京練馬IC間 175.5km(約2時間)
・新潟西IC間 122km(約1時間25分)

上越新幹線
浦佐駅
・東京駅から 約1時間30分
・新潟駅から 約40分

上越新幹線
越後湯沢駅
・東京駅から 約1時間15分
・新潟駅から 約45分

上越線
石打駅
大沢駅
上越国際スキー場前駅
塩沢駅
六日町駅
五日町駅
浦佐駅
八色駅

ほくほく線
魚沼丘陵駅
六日町駅



下記QRコードよりアンケートフォームにアクセスし、ご回答ください。



締切 令和6年2月29日(木)23時55分

※当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

■『LIFE in ～ライフイン～』についてのお問合わせ

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180-1 / 南魚沼市役所 総務部U&Iときめき課 / TEL.025-773-6659

これから南魚沼市への定住を考えている方へ

南魚沼市の取組み

住む地域の資源を活かして

【南魚沼市移住支援金】

- 東京23区に在住もしくは通勤していた人で就業先など一定の要件を満たした移住者を対象に、単身の場合は60万円、世帯の場合は100万円を交付します。※細かい要件がありますので、ご相談ください。

【南魚沼市結婚新生活支援事業補助金】

- 住宅取得費・リフォーム費・家賃・引越し代を最大60万円補助。
- 令和5年3月1日～令和6年3月31日に婚姻した39歳以下の夫婦で、合計所得が500万円未満の場合に対象となります。※詳細についてはお問い合わせください。

【南魚沼市結婚活動支援補助金】

- 県が運営する婚活マッチングシステム「ハートマッチにいがた」の登録または更新をした方を対象に、入会登録料の補助を行っています。

【みんな住マイル住宅改修補助金】

- 住宅等のリフォームで50万円以上の支出があった場合、10万円（子育て世帯・中学生以下の子どものいる世帯は15万円）を補助。※令和5年度で終了予定の事業です。

【中古住宅リフォーム補助金】

- 補助対象経費が100万円以上の工事に對して20万円、また補助対象経費100万円増毎に補助額に20万円を追加し、100万円を上限に補助。※上記の他に補助要件あり。※令和5年度で終了予定の事業です。

南魚沼市役所 総務部U&Iときめき課 TEL.025-773-6659

南魚沼市公式ウェブサイト <https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp>

全国移住ナビ <https://www.iju-navi.soumu.go.jp/>

【U・Iターン促進住宅支援事業補助金（家賃補助）】

- 県外から転入し、県内企業などに就業した方を対象に賃貸住宅の家賃を補助。
- 月額家賃の1/2を補助。補助上限金額1万円。

【南魚沼の木で家づくり事業補助】

- 住宅建築時の南魚沼産木材購入費を補助。
- 購入費の1/3を補助。補助額10万円以上が対象で、上限補助金額50万円。

【南魚沼市空き家バンク制度】

- 市内に使用していない住宅を所有している人から提供された空き家の情報をウェブサイトで公表し、市内での暮らしを希望する人に紹介するシステムです。

【保育園留学®】

- 地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる留学プログラムです。
- 南魚沼市に、1週間から2週間、こどもが地域の園に通いながら家族で滞在できるプログラムです。滞在中は市内の連携宿泊施設やコワーキングスペース(オプション)が利用可能。※詳細についてはお問い合わせください。

【ふるさとワーキングホリデー】

- 主に首都圏など都市部の若者が、一定期間(2週間程度)南魚沼市に滞在して暮らしを体験し、地元の企業で働いて収入を得ながら、地域住民との交流や学びの場などを通じて魅力を知っていただく事業です。1年に2回、夏と冬に各3期間の募集を行っています。

働く起業や働く環境づくりを応援

就農

【農業次世代人材投資事業（経営開始資金）】
（旧青年就農給付金）

- 原則50歳未満の認定新規就農者に年間150万円/人を補助。●最長3年間。

【農業農村体験】

- 「グリーン・ツーリズム推進協議会」を設置し、農業体験旅行を実施しています。田植え、畑づくり、秋の収穫などを通して四季折々の南魚沼を体験できます。

起業

【南魚沼市チャレンジ支援事業補助金】

- 南魚沼市で新たなビジネスにチャレンジする個人・法人に対し、国内外の先進地視察等に必要な経費を補助。
- 上限補助金額100万円

【創業支援セミナー】

- 対象者：市内で創業を希望している方、または創業後まもない方。
- 創業に関する基礎知識を無料で学べるセミナーです。

【創業支援補助金】

- 対象者：市内で新たに創業を行う方。
 - 創業事業費の1/2を補助。上限100万円。
- ※新潟県内からの移住者は5万円、県外からの移住者は10万円の加算。

【個別創業相談】

- 対象者：市内で創業を希望している方、または創業後まもない方。
- 創業の悩みに専門家が無料で相談に応じます。

【MUSUBI-BA】 <https://m-plan.work/>

- 開放的な空間をワーケーションやテレワークの拠点、地域のイベントスペースとして利用できます。

【グローバルITパーク南魚沼】

- 南魚沼市とアダムイノベーション(株)が運営する日本初のIT関連企業を集積する産業拠点です。

【南魚沼市看護人材確保支援事業補助金】

- 県外から転入した看護職員を対象に、市内の200床未満の医療機関等に就業した場合に補助。
- ※詳細についてはお問い合わせください。

介護人材確保緊急5か年事業

【新規・移住定住就職支援金】

- 対象者：市内に住所を有し、市内の介護サービス事業所に介護職員として就職し、継続して1年以上の勤務が見込まれる方。
- ※介護職員として新規就職する方は居住要件は問いません。

【カムバック支援金】

- 対象者：市内の介護サービス事業所に介護職員として就職し、継続して1年以上の勤務が見込まれ、就職した日前3か月以内に魚沼圏域の介護施設に在籍していない方。
- 対象資格：介護支援専門員、介護福祉士、看護師、准看護師のいずれかの資格を有する方。または介護福祉士実務者研修もしくは介護職員初任者研修の課程を修了している方。

【ケアマネエール支援金】

- 対象者：市内の居宅介護支援事業所に過去1年以上継続して勤務している介護支援専門員。

【ケアマネスタートお祝い金】

- 対象者：10月の「介護支援専門員実務研修受講試験」に合格後、同年度内に開催される「介護支援専門員実務研修」を受講、修了し「介護支援専門員証」の交付を受け、交付の日から3か月以内に市内の居宅介護支援事業所に就職し、居宅介護支援業務を行う方。

共通事項 ●支援金：20万円 ※詳細についてはお問い合わせください。

育てる

親子のふれあい・保育

【出生お祝い金】

- 南魚沼市に誕生した子どもに出生のお祝い金を支給。詳細についてはお問合せください。
 - 補助金額：1人目、12万円・2人目、15万円・3人以降、20万円
- ※令和3年度から5年間限定の事業です。

【ほのぼの広場】

- 0歳から小学校入学前の親子が自由に遊んだり、情報交換ができる場です。市内3会場で開設しています。
- ・子育ての駅「ほのぼの」：(水曜定休) 開設時間 9時30分～16時
- ※子育ての駅「ほのぼの」と併設されている「ふれ愛広場」は小学校3年生までが利用可能です。
- ・大和市民センター会場：開設日 毎週 月・水・木 9時30分～15時30分
- ・塩沢市民センター会場：開設日 毎週 火・水・金 9時30分～15時30分

【にこにこ広場】

- 入園前のお子さんとお家の方を対象にした、保育園で行う遊びの広場。どの地域の保育園の「にこにこ広場」にも参加できます。

【心豊かな子育て教室「そだち学級」「親子サロン」】

- 入園前の親子の遊びの場、仲間作りの場。
- 六日町地域の4地区、大和地域、塩沢地域でそれぞれ年間3回から4回開催。

【ファミリーサポートセンター】

- 子育ての手助けをして欲しい人に保育サービスを提供する会員制の保育事業です。
- ※概ね5ヶ月から小学6年生までの子どもが対象です。

【読書のつどい、絵本のへやなど】

- 入園前の乳幼児と保護者を対象に、毎週水曜日(10時30分～11時30分)、南魚沼市図書館で絵本の読み聞かせなどを開催しています。

【待機児童ゼロの維持】

- 保育園の待機児童0人を続け、希望するすべての子どもへ保育を実践しています。

街づくり 変わった視点でまちづくり

【「南魚沼、本気井」キャンペーン】 <https://majidon.jp/>

- 南魚沼産コシヒカリを、市内外の人にお腹いっぱい味わってほしいという企画です。南魚沼市内の飲食店を中心とし、ごはんと具をそれぞれの尺度で大盛にしたイチオシ丼ぶりを提供しています。

【女子力観光プロモーションチーム】

https://www.instagram.com/minamiuonumashi_women

- 女性の視点から全く新しい切り口で南魚沼市の観光を考え、イベント企画や観光関連事業への提案を行うことを目的とした、年齢も職業も様々な一般ボランティアで結成されたチームです。

【美女旅プロジェクト】 <https://www.bijotabi.jp>

- 地元に住み、地元を愛する普通の女の子が生まれ育った地元を紹介する観光パンフレット。

【YouKeyプロジェクト】 <https://qr.paps.jp/WliPe>

- 南魚沼市を舞台に学年や学校の垣根を越えて、中高生と大学生、地域の人々が共に学び合える環境を創出し、自らの人生に主体的に一歩を踏み出す若者の「人づくり」と、人材が地元で還流し続ける「仕組みづくり」を目指している。

支え縁 民間で組織された安心の移住・定住相談体制を整えています。

【一般社団法人 南魚沼市まちづくり推進機構】 TEL:025-778-0511

- 若者の定住とシニアや若者の移住を目指して付加価値の高い仕事が南魚沼市から生まれることを促進する地域再生推進法人です。南魚沼に住む人、住もうと思う人の、未来のごとづくりと豊かな暮らしを応援します。

【一般社団法人 愛 南魚沼みらい塾】 TEL:025-788-1828

- 街のあらゆる場所を「教室」にして、南魚沼市全体を「まなび」の場に“見立てる”ことによって、街のヒト・モノ・コト・トキ・エンをつなげていく。そして「教える」とこと「教わる」ことが、大人、子供に関係なく自由に行き来できる、いわば、新しい南魚沼版「共育」をコンセプトにした一般社団法人です。常に新しい“何か”の出会いをつくり、“何か”をはじめようとする“すべての人たち”の「場(=プラットフォーム)」となる活動をしています。